

北の子

浜岡北小学校だより 令和2年度10月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子

＜重点目標＞

進んで関わり 認め合う子

熱中症対策の収穫

本年度は、熱中症対策として様々な取組を行いました。そして保護者の皆様の御協力もあり、熱中症で大きく体調を崩す子が一人もなく済んだことが、最大の収穫でした。

取組の一つに「登下校時のヘルメットと帽子の選択制」があります。昨年度は本校のみの取組でしたが、本年度は夏休み期間が短いということもあり、市内の他の小学校にも広がりしました。学校判断で他校や今までと異なる取組をするということは勇気がいりますし、判断に苦慮された保護者もあったかと思いますが、「子どもの命を守るため」という目的を押さえることが大切だと思います。保護者の皆様におかれましても交通状況や通学時間、登下校時の暑さなど様々な視点から「交通事故対応」「熱中症予防」のどちらを優先するのか総合的に判断・決定をしてくださり、ありがとうございました。

本年度の新たな取組としては、暑さ指数が「危険」「嚴重警戒」のときに同一下校時刻の学年による集団下校をしたり、「危険」のときに職員による巡回を行ったりしました。特に全学年による集団下校時には、高学年児童が適宜休憩を入れながら適度な速さで歩いてくれたので、全員が安全に帰宅することができました。またある日は、巡回していた校長が、学校に向かって全力疾走する2名の6年生と出会う、下校途中に体調を崩した児童の知らせを受けたことがあり、その後無事保護者に引き渡すことができました。これらのように、高学年児童がリーダーシップを発揮し、一段と優しくそしてたくましく成長したことも大きな収穫でした。



第3ステージの充実に向けて

10月2日（金）で第2ステージ「挑戦」が終了しました。めざす子どもの姿は、「関わりを通した他者からの学びや自分のよさを生かして、集団や個で積極的に挑戦する子」でした。

2年生のKさんの「いいこと日記」には、あいさつについて次のようなことが書かれていました。

朝、学校でSさんとUさんがお辞儀をしながらあいさつをしているのを見て、ぼくもお辞儀をしながらあいさつをしました。とても気持ちのよいあいさつができました。

関わりを通した他者からの学びを生かして、気持ちのよいあいさつに挑戦する姿勢は、めざす子どもの姿そのものです。また、第2ステージの集大成ともいえる「笑顔の会」（ミニ運動会）では、企画、準備、練習、本番を通して挑戦する姿が多く見られました。次の4年生の川柳からもその成果が読み取れます。

○子ども 「笑顔の会 全身全霊 挑んだよ」「負けたけど 頑張ったから 悔いはない」

○保護者 「うれしいな がんばる姿が 見れました」「たくさんの 笑顔が見られ うれしいな」

10月5日（月）から12月24日（木）までの約3ヵ月間は、第3ステージ「高め合い」です。めざす子どもの姿は、「認め合い励まし合いながらめあてに向かって共に伸びようと努力し続ける子」です。

次は、5年生のKさんの「いいこと日記」に書かれていたことです。

この頃ずっとFさんとMさんが朝から校門の所であいさつをしています。大きな声であいさつをしてとても気持ちがよいです。それをまねして1年生があいさつをしているので、高学年としていいなと思いました。



FさんとMさんの努力の継続が、他学年にもとてもよい影響を与えています。二人とも当たり前の行動になっていて「努力」という意識はないのかもしれませんが、しかし、何かに挑戦しやり遂げようとするときは多くの場合、互いの「認め合いと励まし合い」が大きな力となります。これは、重点目標の「進んで関わり 認め合う子」とも一致します。この二つの関わり合いを通して共に高め合っていくことが、学校教育目標の中の「未来をつくる子」にもつながると考えます。

（校長 北原 弘明）

